

## 1. 企業と地域経済圏に関する調査研究

経済のグローバル化が進展する中、FTA（自由貿易協定）をはじめとする地域経済統合の結成が盛んになってきており、特に 90 年代後半以降、その動きは活発化している。こうした動きは、企業のグローバル戦略にも大きな影響を与えている。特に近年の FTA はモノの貿易の自由化のみならず、サービス貿易、相互承認、紛争解決手続き、知的所有権など内容が包括的になり、投資、電子商取引、環境など WTO 協定を先取りする分野を含む協定も増加している。企業はこうした経済活動全般にわたる協定を見据えつつ、グローバル戦略を見直し、海外拠点の再編を進めている。本調査は、産業別あるいは地域別に地域経済圏の進展を整理すると共に、それが企業行動に与える実際の影響をケーススタディをも交えて分析したものである。

報告書は、第 部を「地域統合編」として、近年の地域統合の進展状況と背景、世界貿易との関係のほか、欧州、米州、東アジアにおける地域経済圏の最新動向について各地域の専門家が報告した。

第 1 章は「世界の地域統合の進展と背景」。90 年代の RTA の特徴やその背景、日本を含む東アジアにおける地域経済圏の戦略などを分析。

第 2 章は「地域統合と世界貿易」。戦後の地域統合の歴史と世界貿易との関係、地域統合の経済効果を分析。

第 3 章は「EU の経済統合の現状と直接投資（FDI）の動向」。EU の資本移動の自由化と EU 向けの直接投資動向を分析。

第 4 章は「EU 拡大と企業行動」。中・東欧諸国への EU 加盟への動き、中・東欧への企業進出動向を分析。

第 5 章は「米州における地域経済圏」。FTAA に向けた動き、中南米経済圏と企業行動、NAFTA、メルコスールの最新動向を分析。

第 6 章は「東アジアを巡る FTA の動き」。「ASEAN + 中国」の FTA 構想、東アジアにおける二国間 FTA 締結を巡る動きと AFTA、日本の FTA に向けた対応などを分析。

第 部は「企業・産業編 ~ 企業活動の地理的再編の現状と今後の展望 ~ 」として、繊維産業、エレクトロニクス産業、自動車産業について、それぞれから見た地域経済圏の影響について企業関係者からの報告を紹介した。

第 1 章は「地域経済圏の産業・企業活動へのインプリケーション」。繊維、エレクトロニクス、自動車の各産業の地域経済圏に対応する動きから読み取れることを分析。

第 2 章から第 4 章までは、ケーススタディとして繊維産業、エレクトロニクス産業、自動車産業を取り上げ、各々の地域経済圏における事業展開の動向と歴史、地域経済圏の影響などを分析。